

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文
平成28年7月11日 NO.14(112)

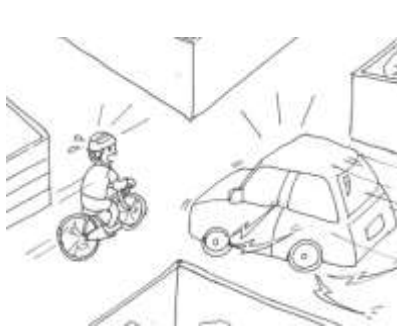
7月11日(月)全校朝会より

7月8日(金)の放課後、本校児童が自転車に乗車中、車と接触するという事故がありました。救急車で搬送され病院にて応急処置をしてもらい、大事には至りませんでした。が、一歩間違えば取り返しのつかない大惨事となった危ない事故でした。自転車の運転については、交通安全教室やその他、いろいろな機会に何度も指導しておりますが、事故はどこで起こるかわかりません。また、自分は安全走行をしていますが、車の運転手が乱暴な運転をする場合もあり、危険は身近にいたる所にあると言えます。事故は自分が痛い思いをするだけでなく、おうちの人や先生や友達など、まわりの人たちに悲しい思いをさせるものです。

今回の事故を教訓として、二度と事故が起こらないように、学校でも安全な自転車走行を心がけるようにしっかりと指導し、安全をなお一層徹底して参ります。各ご家庭におきましても、注意喚起の言葉がけをどうかくれぐれもよろしくお願ひいたします。なお、この機会に、自転車の安全走行のための点検や、ヘルメット着用をお願いします。なお、ヘルメット着用は、12才以下の子をもつ親の努力義務でもあり、ヘルメットを被る事はカッコいいという意識も育てたいものです。

なお、自転車の安全運転について、インターネットで調べた所、いろいろな注意喚起の情報がありました。以下、イラストを添え記しますので、よくお読み頂き、絶対無事故を目指し、自転車による交通事故を防いでいきましょう。

こんな運転をしてはいけません。ぜったいにやめよう。友達がやっていたら注意してあげよう。



とびだし

急きゆうなとび出しはきけんだです。
かならずとまってみぎひだり右左の安全あんぜんを
たしかめてから進すすみましょう。



スピードのだしすぎ

ほかの人ひとにぶつかってケガをさ
せることもあるのでやめましょ
う。友達ともだちとスピード競争きやうそうはダメ。



ならんではしらない

ならんで走るとほかの人ひとや車くるまの
じゃまになる。ぶつかって大ケガおお
をすることもあるのでやめよう。

近隣の迷惑にならないようにみんなで注意し合おう！

学校の近くにコンビニエンスストアが開店してから、ずいぶんと経ちます。コンビニエンスとは、英語で便利という意味であり、いつでもすぐ買い物ができて、それはそれは大変助かっています。校長先生も、時々お店に寄ってはいろいろな買い物をしています。皆さんも便利に利用している事と思います。ところで、コンビニなど地域の人達がたくさん集まる所には、それなりのルールやきまりがあると感じています。自分のおうちではないのですから、好き勝手な事をしていいことはありません。おうちの人と一緒にいる場合には大丈夫だと思いますが、友達と一緒に利用する時など、大丈夫でしょうか。大きな声を出していたり、また、目的もなくお店の前で過ごしたりしてはいませんか。さらに、常識をわきまえず、近隣の人達に迷惑などをかけていないでしょうか。恥ずかしい行動をしていませんか。そんな時には、お互いに注意し合ってほしいと思っています。

国立第七小学校の児童として、地域の人からも信頼され好かれるように、常識豊かに立派な行動をとってほしいと願っています。